



こどもに、大人に、きちんと伝えよう 地域の文化

文化芸術は人をつくり、まちをつくり、未来をつくれます。
県内各地で優れた文化活動を行っている団体をご紹介します。

富士の山ビエンナーレ実行委員会

富士市

●文化支援(文化を支える活動) ●代表/谷津倉龍三

地域×アートが生み出す、「感動」を伝える

富士川流域エリアの地域芸術祭として、静岡・富士・富士宮市を舞台に2014年から2年に1度開催。旧東海道に残る国登録有形文化財や空き家などを活用し、現代アートと地域の魅力を融合させています。開催年に限らず、地域の人々や子どもたちとアーティストが交わるワークショップを継続実施。芸術祭やアーティストと、地域を結ぶ人材の育成を担う「富士の山現代アートをかたらう会」も行われ、多くの人に関わるための間口が開かれています。'19年から'21年まで「Fujinoyama Art Hub」と題し、アーティストが滞在制作を行うマイクロレジデンスを実施。芸術祭を通じて地元住民や芸術家、訪れる人々の交流を進め、知識、芸術、情報交換できるプラットフォーム作りを目指しています。



地域の歴史・文化、アートを愛する28歳から67歳が参加。幅広い世代が交わり、様々な心の打つ企画が生み出されています。

浜松ブルース振興会

浜松市

●音楽(洋楽・邦楽・合唱等) ●代表/藤田泰正

ブルースマンの熱い思いが、浜松を真の音楽の町へ

クラシックやジャズだけでなく、多様な音楽を広めることが浜松を真の音楽の町にする。その信念から活動が始まりました。2007年から毎月ブルースセッションを行い、累計150回以上!“ご長寿セッション”の噂を耳にした、プロのプレイヤーが立ち寄ることも。続けることでセッション会場が増え、地域の活性化にもつながっています。年1回開催される「浜松ブルースフェスティバル」は、アマチュア市民団体が手弁当で企画・運営。ブルースに特化した珍しいイベントとして書籍などに紹介され、その名を広めています。また、他地域とのブルース交流にも意欲的。青森市や堺市のフェス団体とプレイヤーの相互派遣や共同フェスを計画するなど、活動のステージを広げています。



街中の活性化を願い、駅に近い市街地で開催し続ける「浜松ブルースフェスティバル」。商店や企業経営者からも好評を得ているようです。



ふじのくに文化情報センター通信 vol.20

第33回ふじのくに地域文化活動賞受賞団体と、2月に開催した「ふじのくに文化情報フォーラム2020春」をご紹介します。

第33回ふじのくに地域文化活動賞受賞団体が決定しました

静岡県文化財団では、県民文化の振興を通して県民生活の向上と活力あふれる郷土づくりに資するため、昭和62年度から県内各地で地域活性化に貢献する優れた文化活動に取り組む文化団体を表彰しています。第33回を迎えた今回も、県内各地で文化による地域づくりに取り組む7団体が受賞されましたので、ご紹介します。



- 地域文化活動賞** 富士の山ビエンナーレ実行委員会 (代表/谷津倉龍三・富士市)
- 地域文化活動奨励賞** 静岡脳科学研究会(代表/神谷俊郎・藤枝市)
浜松ブルース振興会(代表/藤田泰正・浜松市)
マイロード本町レディース会(代表/村松孟子・富士宮市)
友銭会(代表/中川伴子・袋井市)
- 地域文化活動努力賞** 富士宮女声合唱団(代表/窪田信子・富士宮市)
- 地域文化活動特別賞** 静岡県立伊東高等学校城ヶ崎分校 美術部 (代表/大津忍・伊東市)

あなたの「好き」の力で、体験したワークショップを進化させる ～ふじのくに文化情報フォーラム2020春 あなたの「好き」で文化が変わる!?!～

県内で文化活動に取り組む人たちが集まり、年2回開催しているふじのくに文化情報フォーラム。今回は、123人が参加。『あなたの「好き」で文化が変わる!?!』をテーマに、体験したワークショップを、参加者自身の「好き」の力で、もっともっと面白く進化させる試みを行いました。はじめに、ファンリレーターでNPO法人ESUNE代表の天野浩史さんによるワークショップ「自分スケッチと水やりダイアログ」からスタート。各々、自分に向き合い「好き」の種となる要素をスケッチ。言葉にして共有することで、水をあげた種が芽吹くように「好き」の準備は完了です。いよいよ、県内を中心に活躍する10組のリーダーが用意したワークショップです。音楽や演劇、美術などの芸術分野から、野点や江戸時代の文字を読むなどの歴史や生活文化まで、参加者はその中から2つを体験。そして、体験したワークショップを進化させるべく、自分の「好き」を活かして、リーダーや他の参加者と熱い対話を。様々なバックボーンを持った人たちが一堂に会したからこそ、飛び交うアイデアは、この会だけにとどまらないほど可能性を広げ、タイトルの通り「好き」の持つ力にはものごとを変える力があることを実感しました。今回は体験を通して、異なる領域、地域の人たちが交わり、新たな発想が生まれる場となりました。これからもふじのくに文化情報センターでは、文化活動に取り組む皆さんの、新たな交流とステップアップをささえていきます。



センター長の窓口相談日

ふじのくに文化情報センター長が、文化芸術活動のお悩みやご相談を直接伺います!
日程等の詳細は、ふじのくに文化情報センターホームページをチェック!



ささえる、つなげる、創造する

ふじのくに文化情報センター
FUJINOKUNI Art/Culture INFORMATION CENTER

グランシップ1階
[TEL] 054-203-5721
[E-MAIL] info@shiz-bunka.com
[HP] www.shiz-bunka.com
[Facebook] www.facebook.com/shiz.bunka/
[Twitter] @fujinokunibunka

